

党市議団 来年度予算の組み替えを提案

現職警察官の派遣受入れの減額と国保への繰入増を求める

今号の旭民報では、3月議会の賛否について掲載します。
党市議団は新年度予算に対して、今期の組み替えを提案し、改善を求めました。

3月24日に開かれた、3月市議会最終日、党市議団は来年度予算の組み替えを提案しました。

内容は、県から市へ派遣を受けている現職警察官の人件費1年分を、3ヶ月分に減額し（全額削減を求めたいところですが予定では来年3月末までなので、県との協議期間として3ヶ月分残した。）

代わりに、各小学校区で毎週安全・安心に関する講座を開催できる程度に講師謝礼を追加。残額を、国民健康保険特別会計に繰入れるというものです。

警察官の派遣受入れについて、党市議団は開始時から一貫して反対してきました。



自治体職員と警察官では、住民をどのよる対象として見つめるかという点で大きな違いがあり、住民と共同して地方自治を行っていくのに、現職警察官を職員として配置することは問題があるとの考えからです。また、現職警察官の派遣を受けて市が行っている事務は、本来警察自身が行うべき仕事だという声も寄せられています。

新年度予算組み替え提案の内容

現職警察官の派遣受入れについて

- 県派遣職員人件費負担金
予算額1100万円を75%減らし、3ヶ月分の275万円とする。
- 安全・安心講習講師謝礼を設け、
1万円×38回（年間50回のうち9ヶ月分）×9小学校区
=342万円を追加する。

国民健康保険特別会計への繰入について

- 国民健康保険特別会計繰出金
予算額5億7538万3千円に、483万円を保険税全市支援分として加え、総額、5億8021万3千円とする。

全て国保加入者だけで負担している今のような状態は社会的公正さに欠けます。その不足分を少しでも市民全体で支えるために、派遣職員人件費で削った一部を国保に繰入するものです。

党市議団の組み替え動議は否決されましたが「あの内容なら提案者に加えて欲しかった。」（そのなら動議に賛成して欲しいものです。）「あれは仕方ないよ、警察を誘致するためにやっているとんだから。」（そんな話は初めて聞きましたし、警察署の設置も真の事務です。）などの話が他党派議員から寄せられました。

自分の賛否が知られるのはイヤですか？

陳情3号〜6号は、いずれも議会改革に関するもので、4つの陳情が付託された議会運営委員会では「これから議会で議論をしようとしているのだから」との意見が出されました。

それなら賛成しても良いと思いますが「これからは「これまでも議論してきた」のです。

「議会報告会を実施したい」という提案（陳情3号の内容）を出しても、「広報とともに全戸配布される市議会だよりに、裏面のような賛否の一覧表を掲載しよう」という提案（陳情4号・5号の内容）を出しても、否定してきたのは保守系や公明党議員の皆さんです。そして、本会議場では反対理由を語らないのですから、議員本来の職責を果たせていない。ということにならないでしょうか？



3月議会

賛否の分かれた議案などに対する各議員の態度



○：賛成 ×：反対

※議長は採決に加わりません。

議案などの名称	会派	日本共産党								市民まちづくりネット				新成クラブ			政新あさひ			公明党			草莽
	議員名	川村剛	塚本美幸	大島もえ	楠木千代子	篠田一彦	花井守行	早川八郎	牧野一吉	水野義則	赤尾勝男	※谷口マストラオ	原淳磨	森和実	若杉たかし	相羽晴光	伊藤憲男	岩橋盛文	斉場洋治	伊藤恵理子	片渕卓三	丹羽栄子	山下幹雄
第5号議案 平成22年度一般会計予算に対する組替え動議	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
第5号議案 平成22年度一般会計予算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第6号議案 平成22年度国民健康保険特別会計予算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第11号議案 平成22年度介護保険会計予算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第12号議案 平成22年度後期高齢医療会計予算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第14号議案 職員定数条例一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第15号議案 議員報酬引下げ	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第17号議案 市長・副市長の給与引下げ案	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号議案 教育長の給与引下げ案	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情1号 永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
陳情2号 憲法違反の外国人参政権による選挙を…	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
陳情3号 議会と市民との対話の仕組み作りを求める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
陳情4号 陳情審査結果 通知書に賛否票数を記載する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
陳情5号 陳情審査結果 通知書に賛否議員氏名を記載	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
陳情6号 陳情審査結果 通知書に討議状況を記載	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○

解説

3月議会で賛否が別れた議案などは、上の表の通り15件で、市が提案した議案は全て可決。6つの陳情は全て否決されました。そのうち、党市議団提案の予算の組み替え道議、報酬審議会を経て提案された特別職の報酬引下げ（15号17号18号）、陳情3号、4号、6号の合計7件についての反対理由は語られていません。

●5号議案（新年度一般会計予算）では、予算の組み替えを求めた内容の他に、自衛官募集事務実施などについて批判しました。（反対討論 川村 剛）

●14号議案（市職員の減員）については、高齢化が進む中、これまで以上に丁寧な窓口対応が求められるようになって

いること、夜間窓口・休日窓口など人員が必要なサービスを開始しても増員の検討もしていないなどを指摘しました。（反対討論 川村 剛）

●陳情1号と2号は永住外国人に参政権を与えるのは憲法違反で、実施しないよう求める内容ですが、憲法10条で国民の要件は法で定めるとされていることから憲法違反ではなく、さらに、住人の意見をより多く政治に反映をさせるために、永住外国人への参政権付与は行うべきと表明しました。（反対討論 川村 剛）

●6号11号12号の3議案について塚本美幸議員が反対討論を行いました